



日本文化財科学会第42回大会 セカンドサーキュラー



The 42nd
J.S.S.S.C.P.
Congress
2025
KYUSHU
UNIVERSITY

2025年5月23日発行

日本文化財科学会第42回大会・総会のご案内

日本文化財科学会第42回大会実行委員会
委員長 溝口 孝司(九州大学)

大会および総会のご案内

会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本文化財科学会第42回大会・2025年度総会は、九州大学伊都キャンパスを会場として下記のように開催いたします。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、会員外の方の参加も歓迎いたします。関心をお持ちの方にお知らせいただきますよう、併せてお願いいたします。

記

日本文化財科学会第42回大会・2025年度総会

期日：2025年7月5日(土)・6日(日)

会場：九州大学伊都キャンパス(福岡県福岡市西区元岡744)

主催：日本文化財科学会・共催：九州大学アジア埋蔵文化財研究センター

ウェブページの開設

日本文化財科学会第42回大会のウェブページを下記URLにて開設しております。本大会の情報を順次提供していますのでご利用ください。

<https://www.kuba.co.jp/jssscp2025/>

大会および総会について

1. 研究発表

[口頭発表]

発表時間は15分(入れ替え含む)、質疑応答3分の計18分です。

プロジェクターとスクリーンをご使用いただけます。発表データはUSBメモリに記録してご持参いただき、発表当日のセッション開始前までに机上にあるプレゼンテーション用のノートPCにご準備ください。データはPPT形式あるいはPDF形式を基本とします。

[ポスター発表]

7月5日(土)・6日(日)の両日掲示し続けます。ポスター掲示時間およびコアタイムは以下の通りです。

掲示時間 7月5日(土)9:30～7月6日(日)14:00

コアタイム 7月5日(土)13:10～14:10

7月6日(日)12:40～13:40

ポスターはA0版(幅841mm×縦1189mm)まで掲示可能です。

掲示用の磁石、ワッポン(掲示用粘着材)は実行委員会で用意いたします。画鋸、テープ類、接着剤は使用できませんのでご注意ください。

2. 参加登録

大会ホームページ(<https://www.kuba.co.jp/jssscp2025/>)の大会参加申し込みフォームから参加登録のうえ参加費決済を行ってください。

事前登録期限は6月20日(金)です。6月20日以降、事前登録をしていただくことはできません。

- ・登録には受信可能なメールアドレスが必要です。
- ・登録後に送られる自動返信メールの内容に従い、参加費のお支払いをお願いいたします。

●参加費登録

参加者区分	事前登録(支払) ※6月20日(金)まで	当日登録
正会員	5,000円	8,000円
非会員(一般)	7,000円	10,000円
学生(会員・非会員)	参加費無料	
賛助会員・団体会員(所属の方)	参加費・要旨集無料	

- ・ご入金後のご返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・学生資格で参加する方には、登録後に確認させていただく場合があります。
- ・すべての参加登録者が電子版要旨集(PDF)をダウンロードできます。
- ・冊子体要旨集(印刷物)の代金は3,000円(税込)となります。ご希望の方は、参加申込フォームにて「冊子体要旨集希望」を選択のうえ、6月20日(金)までに代金をお支払いください。なお、お渡しは会場が基本となります。送付をご希望の場合は、別途送料を頂戴いたします。

3. 大会

日時:2025年7月5日(土)・6日(日)

会場:九州大学伊都キャンパスイーストゾーン(福岡県福岡市西区元岡744)

共催:九州大学アジア埋蔵文化財研究センター

4. 総会

日時:2025年7月6日(日)11:40~12:40

会場:九州大学伊都キャンパスイーストゾーン イースト2号館1階 E-D-103 A会場

内容:正会員をもって構成し、学会運営や予算などの必要事項について議決します。多くの正会員の参加をお待ちしておりますが、参加できない会員は委任状をご提出ください。

5. 懇親会

日時:2025年7月5日(土)18:30~

会場:九州大学伊都キャンパス 大学生協 ビックスカイ

参加費:大人(会員・非会員)5,000 円/学生 3,000 円

- ・懇親会の参加をご希望の方は、参加申込フォームにて該当の参加区分を選択のうえ、6月20日(金)までに事前登録費と合わせて代金をお支払ください。
- ・懇親会のご参加は先着順に受け付けます。定員に達した場合は早期に申込受付を終了することがあります。

6. ワーキンググループ会議

口頭発表、ポスター発表の枠組みに加えて、テーマ別に会員が自由に討議できるイベントです。申し込みいただいたグループを下記のとおりご紹介します。

A会場 E-D-103

WG-1 (15:40~16:30)

『東アジア出土ガラス玉の考古科学研究を深めるWG』

企画者:田村 朋美、金 奎虎、大賀 克彦、高橋 美鈴、村串 まどか、谷澤 亜里

内容:分析化学と考古学を組み合わせることにより、東アジアにおけるガラス玉交易についての考察を深める。今回は、弥生時代並行期の北部九州と朝鮮半島南部で流通したガラス玉について日韓の研究者を交えて議論する。

WG-2 (16:30~17:20)

『地球科学的手法による文化財科学への貢献』

企画者:畠山 唯達、下岡 順直、小畑 直也、足立 達朗、三阪 一徳、北原 優、加藤 千恵

内容:文化財科学では様々な地球科学的手法が利用され、実際に両分野を跨いで研究している人も多い。本WGは、古地磁気・ルミネッセンス・鉱物学などの手法を持つ研究者が横の繋がりを持つために開催する。

WG-3 (17:30~18:10)

『学際ハブ「超学際ネットワーク」激甚災害と年代測定グループ』

企画者:箱崎 真隆、坂本 稔、南 雅代

内容:学際ハブ「超学際ネットワーク形成」の「激甚災害と年代測定グループ」では、炭素14スパイクマッチ法と酸素同位体比年輪年代法によって、文化財、激甚災害、太陽フレアなどに精密な年代を与える。本WGではこれまで成果と今後の展望を示す。

B会場 E-D-105

WG-4 (15:40～16:30)

『第9回土器科学分析ワークショップ』

企画者:宮田 佳樹、西田 泰民、福井 淳一、村本 周三、宮内 信雄、小澤 仁嗣、堀内 晶子、吉田 邦夫

内容:土器残存脂質、安定同位体、14C年代測定(IntCal20)、さらに、圧痕、X線、CTなどを用いた科学分析技術を解説し、手法の共有化を図り、課題や結果の解釈に関する問題点を明らかにしたいと思います。

WG-5 (16:30～17:20)

『3Dスキャナを用いた土器使用痕(ススコゲ)分析』

企画者:小林 正史、三谷 智広、久保田 慎二、妹尾 裕介、白石 哲也

内容:鍋釜のススコゲの特徴から調理方法を復元する土器使用痕研究では、内面のコゲの形成過程を判定することが最も重要であることから、3Dスキャナの貢献度が高い。レーザー・スキャナ、LiDARライダー、フォトグラメトリーという3種類各々の長所と短所を踏まえて、どのように組み合わせてススコゲ図面を作成すべきかを検討する。

WG-6 (17:30～18:10)

『科学調査の倫理観ワークショップ』

企画者:大西 智洋、沓名 貴彦、鳥越 俊行、比佐 陽一郎、松井 敏也

内容:関西・関東に続き九州では初めての開催となります。文化財の破壊、非破壊調査は判断基準が明確でない部分もある。また、調査時の手続きや調査資料(試料)のその後の管理や取扱いというのは表に出ることはほとんど無い。様々な立場の研究者が議論し適切な文化財調査の方法について分野や世代間の認識のすり合わせを図る。

7. 特別セッション

韓国文化財保存科学会との研究交流を目的とした特別セッションを開催します。

日時:2025年7月5日(土)15:40～18:10

会場:九州大学伊都キャンパスイーストゾーン イースト2号館1階 E-D-107

内容はプログラムを参照ください。

8. 企業セミナー、機器展示・商品紹介

[企業セミナー]

企業主体で機器の紹介、デモやプレゼンを実施していただくセミナーです。企業セミナーは、5日(土)の昼休みに実施予定です。

- ・ 大塚オーミ陶業 株式会社 A会場 E-D-103
- ・ 株式会社 ウインディーネットワーク B会場 E-D-105
- ・ リカバリープロ 株式会社 C会場 E-D-107

[機器展示・商品紹介]

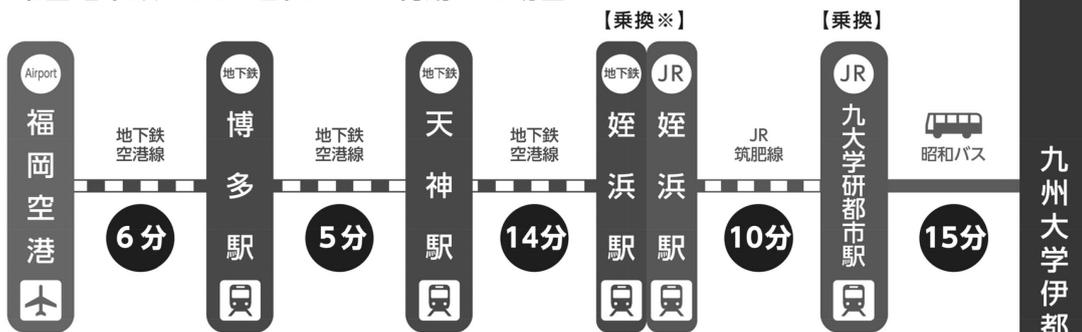
- ・ アイクオーク 株式会社
- ・ 株式会社 ウインディーネットワーク
- ・ OMデジタルソリューションズ 株式会社
- ・ 大塚オーミ陶業 株式会社
- ・ KYOTO's 3D STUDIO 株式会社
- ・ 光明理化学工業 株式会社
- ・ 三恒商事 株式会社
- ・ 株式会社 ジーンネット
- ・ ジャパンマシナリー 株式会社
- ・ 株式会社 ディテクト
- ・ 株式会社 とっぺん
- ・ 株式会社 パレオ・ラボ
- ・ ピーエス工業 株式会社
- ・ 富士シリシア化学 株式会社
- ・ 一般社団法人 文化財科学研究センター
- ・ 国立文化財機構 文化財防災センター
- ・ 株式会社 Voxel Works
- ・ 松永測機 株式会社
- ・ 株式会社 三ツワフロンテック
- ・ 株式会社 リガク
- ・ リカバリープロ 株式会社

(五十音順)

日本文化財科学会第42回大会・総会会場のご案内

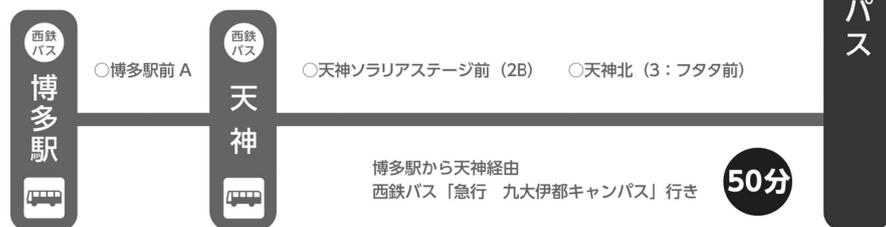


市営地下鉄・JR・昭和バスを利用する場合



※唐津行き、筑前前原行きの場合は乗換不要です

西鉄バスを利用する場合



博多駅から天神経由
西鉄バス「急行 九大伊都キャンパス」行き

交通機関 JR「九大学研都市」駅より昭和バス約15分(詳しくは九州大学のHPをご覧ください)

バス時刻表(両日とも)※バスの本数が少ないですので、「●推奨」にご乗車ください。

九大学研都市駅 → 九大ビックオレンジ

3系統 8:06発 → 8:17着

3系統 8:30発 → 8:41着 ●推奨

1系統 8:46発 → 9:02着 ●推奨

3系統 9:08発 → 9:19着 ●推奨

3系統 9:21発 → 9:32着

九大学研都市駅 → 九大イーストゾーン

2A系統 8:18発 → 8:34着 ●推奨

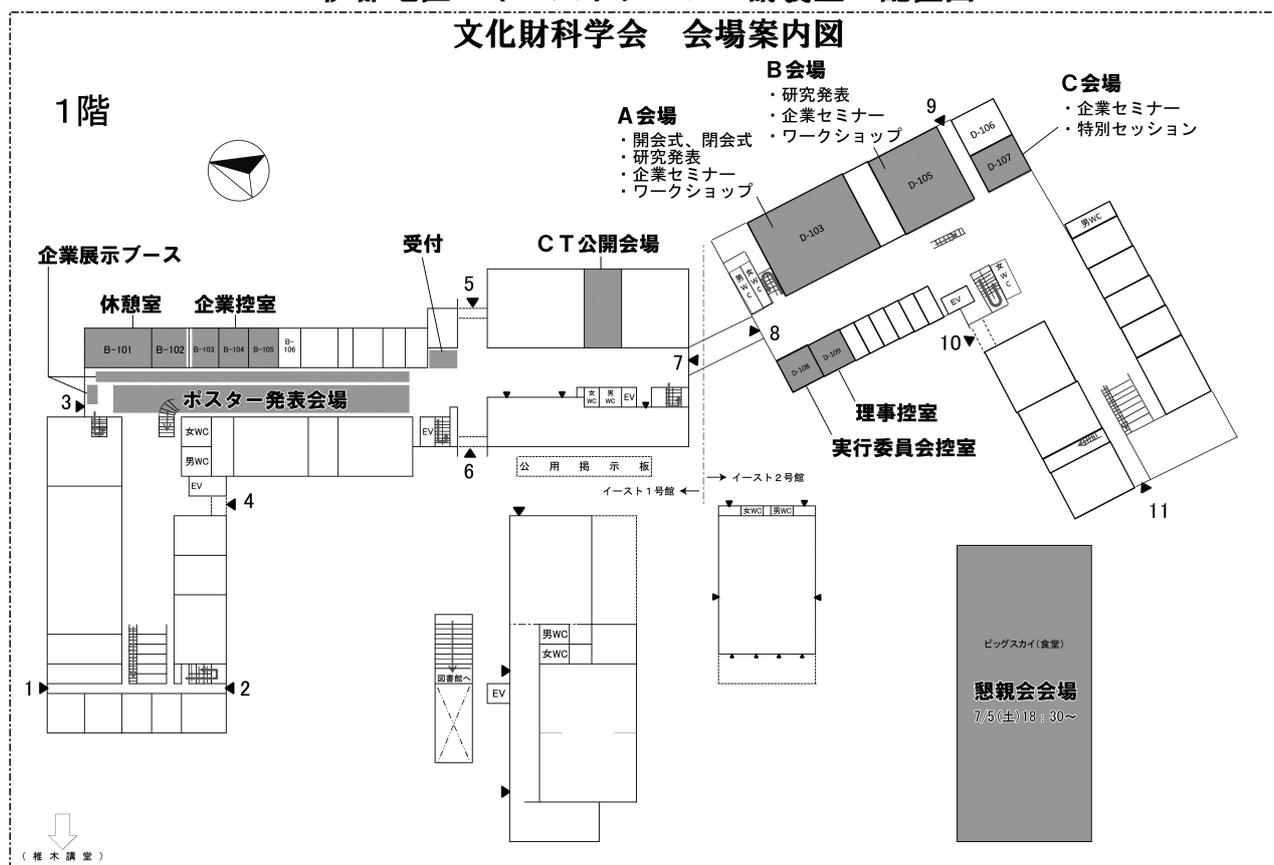
学内駐車場ご利用の場合

センターゾーン入口(イーストゾーン側)の守衛所にて300円を支払えば終日駐車可能です。

※博多駅、天神駅周辺にはホテルは多数ございますが、近年の観光客の増加に伴い予約が取りにくくなっております。ご参加が決まりましたら、お早めのご予約をおすすめいたします。

伊都地区 イーストゾーン 講義室 配置図

文化財科学会 会場案内図



[昼食について]

土日とも大学生協(イーストゾーン)は営業していません。

食事はご持参いただきますようお願いいたします。

※学内で営業している生協食堂とコンビニは、徒歩15分程度かかります。

日本文化財科学会第42回大会の組織

日本文化財科学会第42回大会実行委員会

委員長:溝口 孝司(九州大学)

事務局長:田尻 義了(九州大学)

実行委員:青木 智史(奈良教育大学)、足立 達朗(九州大学)、片岡 太郎(弘前大学)、片多 雅樹(長崎県埋蔵文化財センター)、加藤 和歳(九州歴史資料館)、加藤 千恵(九州大学)、上條 信彦(弘前大学)、木川 りか(九州国立博物館)、北原 優(九州大学)、小林 啓(九州歴史資料館)、坂本 直也(熊本博物館)、澤藤 りかい(九州大学)、志賀 智史(九州国立博物館)、鈴木 舞(九州大学)、仙田 量子(九州大学)、谷 直子(九州大学)、辻田 淳一郎(九州大学)、中村麻里(福岡県文化振興課)、比佐 陽一郎(奈良大学)、日高 真吾(国立民族学博物館)、福永 将大(九州大学)、舟橋 京子(九州大学)、村上 浩明(株式会社とっぺん)、山路 康弘(大分市立植田南中学校)、米元 史織(九州大学)、輪田 慧(合同会社 2bit)、渡辺 祐基(九州国立博物館)

日本文化財科学会第42回大会事務局
〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学大学院比較社会文化研究院
アジア埋蔵文化財研究センター(田尻研究室)
E-mail:jssscp2025@kuba.jp